

VI 学術活動・研究会活動

著書

「AI と学ぶ臨床コーチング」

Dr.田丸司 大西俊一郎 原隆亮 高橋優三

日本臨床コーチング研究会 2025 年 4 月 12 日

論文・総説

「回復期頸髄不全損傷者の両側大腿四頭筋に対する電気刺激併用下での反復起立自主練習が下肢筋力やバランス機能、歩行能力に与える影響 —ABAB デザインを用いた 1 症例での検証—」

PT 小林広空 澤島佑規 溝脇亮

日本物理療学会誌「物理療法科学」33 巻 1 号 2025 年 8 月 4 日（早期公開）

「リーダーシップとコーチング『リーダーシップって何？』」

Dr.田丸司

私もコーチング～日本臨床コーチング研究会 P38-41 2025 年 9 月 25 日

「脳卒中片麻痺患者の回復期リハビリテーション病棟退棟 3 ヶ月後の自宅内転倒に関わる因子 — 決定木分析による検討 —」

PT 佐藤直弘 澤島佑規 OT 川口悠子

愛知県理学療法学会誌 第 37 巻 2 号 : 99-105, 2025 年 12 月 26 日

「体験価値を支える組織とは？ — ジャングリアから学ぶ臨床コーチングの視点 —」

Dr.田丸司

いつもコーチング～日本臨床コーチング研究会 P5-13 2026 年 3 月 10 日

学会発表

【国際学会発表】

「A Cognitive Decline Screening System Using iWakka: Quantification of Motor Learning through Finger Dexterity Tasks」

Kazuya Toshima, Takamasa Kume, Tsukasa Tamaru, Yoshifumi Morita

IEEE i-CREATE 2025 CONFERENCE PROCEEDINGS of 2025 International Convention on Rehabilitation Engineering and Assistive Technology (i-CREATE2025, Bangkok, Thailand) 2025.11.25

「iWakka を使用した認知機能低下を判別するスクリーニングシステムの開発」

運動学習を評価指標として軽度認知機能低下を判別するアルゴリズムを実装したアプリケーションシステム（以下、アプリ）を開発した。アプリでの計測は自動化されており、更に高齢者でも容易に測定が可能な操作手順となっている。この開発の経緯について発表を行った。

「Influence of Vibration Frequency in iWakka-Vibe Rehabilitation on Motor Function and Muscle Tone After Stroke」

Kazuya Toshima, Tsukasa Tamaru, Grzegorz Granosik, Igor Zubrycki, Klaudia Marek,
2025 Japan-Poland International Workshop on Technologies supporting rehabilitation and
medical services, (Lodz University of Technology, Poland) 2025.12.8



「iWakka-Vibe を使用した脳卒中後の運動機能および筋緊張に対する振動周波数の影響」
振動刺激は脳卒中後の上肢麻痺に対して運動機能の促進と筋緊張抑制に有効な手段と報告されている。この振動刺激を付加したリハビリテーション機器を開発した。ポーランドと日本の脳卒中患者を対象とした実験を通して、開発した機器の有効性を検証した。この検証内容を発表し、コンペティションで1位を授与された。

【国内学会発表】

指定講演

「緊張型頭痛の病態に基づく治療戦略」

～シンポジウム 14 あらためて考える、頭痛の病態に基づいた治療戦略

Dr.石崎公郁子

第 66 回日本神経学会学術大会 2025 年 5 月 22 日

「AI と学ぶ臨床コーチング」

～シンポジウム 5 リハビリテーション領域における DX を利用したコミュニケーションの現状と課題

Dr.田丸司

第 9 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 2025 年 10 月 24 日

「群発頭痛の臨床的特徴」 ～日本医師会認定産業医研修会 “群発頭痛の痛みを理解する”

「妊娠・授乳時の片頭痛急性期治療薬の使い方」

～シンポジウム 9 “妊娠・授乳時の頭痛の治療薬の使い方 up to date”

Dr.石崎公郁子

第 53 回日本頭痛学会総会 2025 年 11 月 21 日・22 日



VI 学術活動・研究会活動

一般演題

「脳卒中片麻痺患者の回復期リハビリテーション病棟退棟 3 ヶ月後の自宅内転倒に関わる因子—決定木分析による検討—」

PT 佐藤直弘 澤島佑規 OT 川口悠子



脳卒中片麻痺患者の回復期病棟退棟 3 ヶ月後の自宅内転倒に関与する因子を決定木分析で検討した。TUG や在棟中の転倒回数、BMI、体幹機能が階層的に関連し、退院後の自宅内転倒の可能性についてバランスおよび歩行能力などを包括的に評価する重要性が示唆された。この発表は本学会において、新人賞を授与された。

「視床出血患者における歩行時の長下肢装具使用期間と皮質脊髓路走行領域の損傷度との関係」

PT 澤島佑規

「脳卒中片麻痺患者の腓腹筋およびハムストリングスへの体外衝撃波治療の痙縮改善効果」

PT 溝脇亮

第 33 回 愛知県理学療法学会 2025 年 5 月 18 日

「透析患者における HAL 腰タイプを用いた反復起立練習の効果検討」

PT 前川智哉

第 70 回日本透析医学会学術集会・総会 2025 年 6 月 28 日

「AI と学ぶ臨床コーチング」

Dr. 田丸司

第 17 回日本臨床コーチング研究会学術集会総会 in 東京 2025 年 8 月 2 日

「回復期リハビリテーション病棟における申し送り廃止の取り組み」

Ns 川端千香子

第 29 回日本看護管理学会学術大会 2025 年 8 月 22 日

「回復期リハビリテーションに入院者での抑うつ傾向とコミュニケーションスタイルの関連性」

Dr. 田丸司

「当院回復期リハビリ病棟で経験した成人型モヤモヤ病の 5 症例」

Dr. 山川春樹

「患者特性や病態が Brain - Machine Interface の反応性に与える影響」

OT 野口貴弘 小林未奈 戸嶋和也 山下和馬 Dr. 田丸司 植木美乃

「把握力調整能力評価トレーニングデバイスにおける介入効果の検証～注意機能と睡眠の質変化に着目して」

OT 岡部雄斗 戸嶋和也 Dr. 田丸司 今井あい子 森田良文

「運動学習を評価変数とした軽度認知機能低下の判別モデルの提案～計測時間短縮に向けたアルゴリズム開発」

OT 戸嶋和也 Dr.田丸司 森田良文

第 9 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 2025 年 10 月 23 日～25 日

「回復期脳卒中患者におけるハムストリングスの痙縮に対する体外衝撃波治療の効果が得られやすい患者属性の検討」

PT 奥田翔吾 溝脇亮 小林広空 安立優花 木下友里 伊藤良太

「脳卒中片麻痺患者の歩行評価に影響する因子の検討－10m歩行時間・Timed Up & Go Test・6 分間歩行距離に着目して－」

PT 佐藤直弘 澤島佑規

「被殻・視床出血患者における皮質脊髄路走行領域の損傷度が足関節の運動機能予後に及ぼす影響」

PT 澤島佑規 矢部広樹 足立浩孝 田中善大

第 41 回東海北陸理学療法学会学術大会 2025 年 10 月 25 日・26 日

「回復期脳卒中片麻痺患者の下腿三頭筋の痙縮に対する体外衝撃波治療の効果に関連する因子の検討」

PT 溝脇亮 奥田翔吾 小林広空 安立優花 木下友里 伊藤良太

「仮想現実技術を用いたリーチ練習が右上下肢に運動失調を呈する両片麻痺者の起立及び歩行能力に与える影響」

PT 小林広空 澤島佑規 溝脇亮

「被殻・視床出血患者における皮質脊髄路走行領域の損傷度と歩行練習時における長下肢装具使用期間との関係」

PT 澤島佑規 矢部広樹 足立浩孝 田中善大

第 23 回日本神経理学療法学会学術大会 2025 年 10 月 31 日・11 月 1 日

「作業指向の目標設定とその満足度が回復期リハビリ病棟退院後の QOL に及ぼす影響 一回帰木を用いた予測因子の検討」

OT 川口悠子 PT 澤島佑規 伊藤良太

「ADOC-H の項目選択を行いやすくするための換算表試作版の作成」

OT 小林由衣 川口悠子 上地朱音

第 59 回日本作業療法学会 2025 年 11 月 7 日～9 日

「軽度認知機能低下を判別するスクリーニングシステムの開発～社会実証への取り組み～」

OT 戸嶋和也 子池なつみ 中川陽子 Dr.田丸司 奥村理加 木下弘 後藤桃佳 河邊真名美 森田良文

第 44 回日本認知症学会学術集会 2025 年 11 月 21 日

VI 学術活動・研究会活動

「筋肉量を維持した減量が可能となった高度肥満を有する両片麻痺患者の一例」

RD 中村遥

リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪 2025 2025 年 11 月 21 日

「不安に焦点を当てた介入により、目標共有が可能となった事例報告」

OT 子池なつみ 川口悠子

第 24 回東海北陸作業療法学会 2026 年 1 月 11 日

「大腿骨近位部骨折術後患者の股関節外転筋力増強運動に対する中殿筋への神経筋電気刺激および筋電図バイオフィードバック併用の効果」

PT 小林広空 溝脇亮 澤島佑規 佐藤直弘 川原秀人 足立浩孝

日本物理療法合同学会大会 2026 2026 年 2 月 1 日

「回復期リハビリテーション病棟における運動器疾患患者の入棟時 GLIM 基準と FIM との関連性」

PT 森戸裕也 伊藤剛

回復期リハビリテーション病棟協会 第 47 回研究大会 in 米子 2026 年 2 月 6 日

研究会活動

「慢性炎症性脱髄性多発神経根炎により全身の筋力低下を呈した症例～伝い歩き獲得を目指して～」

PT 村松李香

「脛骨天蓋骨折例に対する足関節背屈可動域改善に向けた理学療法」

PT 川原秀人

2025 年度海部支部症例検討会～愛知県理学療法士会 2025 年 9 月 10 日

その他講演等

「私の診察室 日常における頭痛の診かた～（いち）専門医の視点～」

スポンサードセミナーⅡー 頭痛診療再考（鑑別からマネジメントまで診察室で行っていること）ー

Dr.石崎公郁子

HMSJ2025 Spring Semester Kanazawa (Headache Master School Japan 2025) 2025 年 6 月 22 日

「頭痛診療のアップデート～「ただの頭痛」からの脱却」～特別講演Ⅰ

Dr.石崎公郁子

第 4 回兵庫頭痛セミナー 2025 年 7 月 2 日

「片頭痛経口予防治療の再考～ナルティークを踏まえた治療戦略」～講演 1

Dr.石崎公郁子

Migraine Clinical Deep Dive Seminar in Tokai 2026 年 2 月 21 日

「AI と学ぶ臨床コーチング（糖尿病への療養指導例を含めて）」～講演 4

Dr.田丸司

第 43 回内分泌糖尿病心理行動研究会 2026 年 3 月 1 日

「気づきのプロセスとしてのコーチング体験～心と脳にどのように作用するか～」～講演 03

Dr.田丸司

日本臨床コーチング研究会 コーチングセミナーIN 札幌 2026 年 3 月 7 日

メディア掲載

「年齢を重ねると発症しやすくなる「変形性ひざ関節症」～あなたの“ひざ”は大丈夫？」

特集～お家でラクラク“ながらトレーニング”で一生自分の脚で歩く～

Dr.松原正武

星羅（すてら、株式会社ヴェントゥーノ会報誌）2025 年 9-10 月号

VII サークル活動

偕行会和太鼓クラブ

和太鼓クラブ「かいこう」は、当院作業療法士の小林幹太がプロ和太鼓奏者の弟小林遼太氏と組織する「幹遼太鼓」の指導の下、毎月職員が稽古に励んでいます。『和太鼓で地域の方々に笑顔に』を目指し、偕行会内だけでなく、近隣の病院や施設への演奏活動も行っています。今後も、あま市の観光大使も務める幹遼太鼓と協力し地域活動に貢献していきます。演奏のご依頼等ありましたら、ご連絡ください。



2026 年 4 月 偕行会入社にて



幹遼太鼓 HP より
右：小林幹太 左：小林遼太



@KANRYODAIKO



「幹遼太鼓」
Instagramはこちら